

訂正のお知らせ

「視能訓練士セルフアセスメント第6版追補版
第46回視能訓練士国家試験問題・解説」
(第1版第1刷, 2016年6月発行)

本書において、以下の通り問題文の記載内容についての誤りがありました。お詫びして訂正致します。読者の皆様、ご関係各位には多大なるご迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。

- 5頁 【46-91】 問題4行目 「動眼神経」→「交感神経」
- 7頁 【46-84】 解説4行目 「心電図解析やショック」→「心電図解析や電気ショック」
- 9頁 【46-104】 解説1～5行目 「1 ○空気感染」「2 ×」「3 ×」「4 ×」「5 ×」

↓

「視能学第2版 p465 参照

- 1 × 肺結核は結核菌の飛沫核の吸引(空気感染)により発症する。飛沫感染では $5\mu\text{m}$ 径よりも大きい飛沫に存在する病原体を対象とする。空気感染では飛沫の一部が乾燥した $5\mu\text{m}$ 径以下の飛沫核に付着した病原体を対象とする。
- 2 ○ B型肝炎は体液感染, 血液感染する。よって, 接触感染である。
- 3 ×
- 4 ×
- 5 ×

厚生労働省の解答では, 2が正確である。しかし視能学 p465 では飛沫感染と空気感染を区別してあり, 必ずしも1が解答でないとは考えにくい。 【解答】2

- 12頁 【46-74】 問題2行目 「屈折矯正下で, 遮断試験を」→「屈折矯正下で遮断試験を」
- 17頁 【46-89】 問題4行目 「視神経細胞」→「神経節細胞」
- 19頁 【46-99】 問題6行目 「+2.50D」→「+0.25D」
- 21頁 【46-94】 解説2～6行目

[誤]

「 $U+D=V$ から
 $-1+10=V$
 $9=V$
 $9=1/v$
 $v=11.1\cdots$ 」

[正]

「 $U+D=V$ から
 $-1+10=V$
 $V=+9$
さらに $V=1/v$ であることから
 $9=1/v$
 $v=0.111\cdots$ 」

- 23頁 【46-102】 解説1行目 「解析されるのパラメータ」→「解説されるパラメータ」
- 27頁 【46-109】 解説3行目 「縮瞳する副作用」→「縮瞳する副作用」
- 28頁 【46-98】 解説2行目 「ステロイド点眼薬使用に」→「ステロイド使用に」
- 44頁 【46-100】 問題1行目 「右目偏心固視」→「右眼偏心固視」

- 47 頁 【46-129】 問題 1 行目 「減弱術」 → 「減弱術」
- 48 頁 【46-73】 解説 1 行目 「外斜視・外斜視」 → 「外斜視で、外斜視の」
- 50 頁 【46-56】 解説 7 行目
「上直筋は回旋作用が少ないので、内方回旋複視となることはまずない。」
↓
「上直筋短縮は、外方回旋複視となるが、直筋は回旋作用が少ないので、複視を自覚しにくい。」
【46-56】 解説 8 行目 「下転制限を起こす。」 → 「上転制限を起こす。」
- 51 頁 【46-150】 問題 3 行目 「アトロピン硫酸塩」 → 「アトロピン硫酸塩」
- 52 頁 【46-150】 解説 4 行目 「4 ×」 → 「4 ○」
【46-150】 解説 12 行目 「【解答】 2」 → 「【解答】 2, 4」
- 53 頁 【46-128】 問題 5 行目 「遮聞」 → 「遮閉」
- 58 頁 【46-135】 解説 1～5 行目
〔誤〕
1 × 水平偏位である。
2 × 左方視で上下偏位が大きくなる。
3 ○ 右方視で上下偏位が大きくなる。
4 ○ 右方視で上下偏位が大きくなる。
5 × 左方視で上下偏位が大きくなる。
↓
〔正〕
左上方偏位とは左眼上方偏位と考えられる。
1 × 水平偏位である。
2 × 右方視で左眼下方偏位が大きくなる。
3 ○ 右方視で右眼下方偏位が大きくなる。よって左眼上方偏位が大きくなる。
4 ○ 右方視で左眼上方偏位が大きくなる。
5 × 左方視で右眼上方偏位が大きくなる。
- 67 頁 【46-7】 解説 4 行目 「眩しさを軽減させる」 → 「眩しさを軽減させる」
- 69 頁 【46-149】 問題 1 行目 「王訴」 → 「主訴」